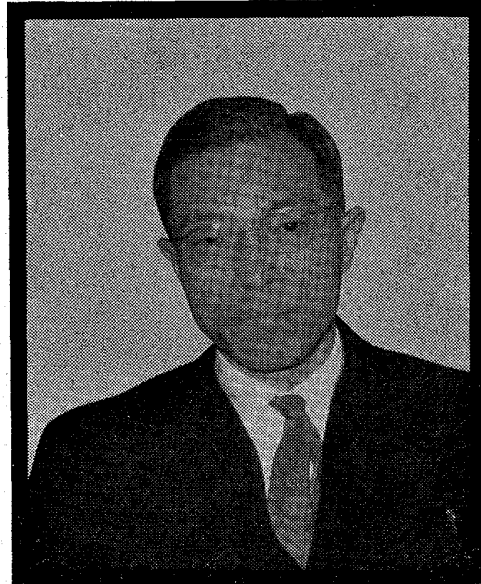


追 悼 評 議 員 岡 本 正 三 君

岡本正三君は、昭和38年9月6日腎臓病で急逝せられ、9月8日自宅において葬儀が執り行われました。その際本会を代表して会長より霊前に弔辞を捧げました。ここに同君の冥福を祈り、つつしみて哀悼の意を表します。



略 歴

明治43年1月	山口県に出生
昭和8年3月	東北帝国大学工学部金属工学科卒業
昭和9年10月	東北帝国大学金属材料研究所助手
昭和15年8月	東北帝国大学助教授
昭和17年1月	東京工業大学助教授
昭和18年5月	東京工業大学教授
昭和25年3月	日本工業標準調査会臨時委員
昭和29年5月	学術奨励審議会委員
昭和32年7月	日本学術振興会耐熱金属材料研究委員会委員
昭和36年9月	職業教育教科書編集協議会委員

弔 詞

本会評議員岡本正三博士の訃報に接し悲みに堪えず、謹んで弔詞を呈します。

博士は夙に鉄鋼に関する学術技術の権威者として令名高き方でありまして、早くより本会に入会せられ、理事、評議員の要職を初め各種委員会の委員に就任せられ、精励恪勤本会運営のため尽瘁せられました。本会が今日の隆盛を見るに至りましたことは博士の尽力に負う所誠に多大なるものありと真に感謝に堪えません。

今やわが国鉄鋼界の振興が強く要望せられ、博士の指導を待望すること切なるの秋、病を得て永眠せられ、再び博士の温容に接することができなくなりましたことは洵に哀惜に堪えないところであります。

茲に日本鉄鋼協会を代表し博士の遺された幾多の業績に対し深甚の敬意を表し、謹みて冥福を祈り哀悼の誠を捧げます。

昭和 38 年 9 月 8 日

社団法人日本鉄鋼協会会長 三 島 徳 七